

世界をリードする

日本の防災技術とその国際展開

日時 8月28日(日) 12:30～14:30

会場 東京大学 安田講堂
東京都文京区本郷7-3-1

主催 日本防災プラットフォーム

地震を感知するとガスを瞬時に止める技術、揺れが来る前にスマホやテレビで地震を知らせる技術。自然災害の被害を抑制するために、日本の民間企業が開発し活用されている防災技術には、世界最先端のものが多くあります。多くの人命を救う優れた日本の先端防災技術にはどのようなものがあり、それらを海外で実用化するにはどのような課題があり、解決するにはどうすればいいのかについて議論します。

● プログラム ●

発表 12:30～13:30

司会 日本防災プラットフォーム 常務理事兼事務局長 土井 章

防災技術の国際展開に向けた日本の強み

木根原 良樹

三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 主席研究部長

自然災害にどう立ち向かう？ ICTを活用した防災・減災技術 JBP 防災 ICT 技術グループ (NTT データ、NEC、富士通、日立製作所) 共同発表

中村 毅

株式会社NTTデータ 防災ソリューション担当課長

空間情報を活用した防災技術 JBP 空間情報技術グループ (国際航業、パスコ、アジア航測、RESTEC) 共同発表

島村 秀樹

株式会社パスコ 取締役

ミャンマーの水害と貧困の削減を目指した国際科学技術協力

川崎 昭如

東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 特任准教授

国土交通省の防災技術の国際展開

岡田 智幸

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 国際室 国際河川技術調整官

パネルディスカッション 13:30～14:30

モデレータ 小池 俊雄

東京大学 教授/水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) センター長

パネリスト 呉 文 繡 ARISE (UNISDR 災害に強い社会に向けた民間セクター・アライアンス) 理事/国際航業株式会社 代表取締役会長

※五十音順

岡田 智幸

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 国際室 国際河川技術調整官

川崎 昭如

東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 特任准教授

木根原 良樹

三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 主席研究部長

隅田 真司

株式会社NTTデータ 第四公共事業部長

松岡 由季

国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) 駐日事務所代表